

備後地域地場産業振興センター

和紙でバッグ

備後地域地場産業振興センターのブースでは、備後撚糸が和紙を使ったバッグなどを提案する。和紙素材は、強度や糸が角ばったりするのが難点だが、同社は独自開発の「水撚り製法」により、丸みや強度のある8～30番(綿番手)の糸を開発した。

この糸を使ってアウター、イ

ンナー、タオルをはじめさまざまな用途を開発してきたが、認知度を高めるために自社ブランドのバッグを立ち上げた。京都のテキスタイル・染織デザイナーの塩谷栄一氏と協業によるバッグなど約30点を出展する予定だ。

普及版となる「ブーンライト」は7000円、友禅調の手描きや藍・柿渋染めなどを組み合わせた高級品の「光」では10万円近い商品もある。